



TQ Series

TQ15, TQ12, TQ10, TQ8

Full range 15"/12"/10"/8" Loudspeaker for Install and Touring

TQ15-SB, TQ12-SB, TQ10-SB, TQ8-SB

Swivel Bracket for TQ Loudspeakers

TQ15-YB, TQ12-YB, TQ10-YB, TQ8-YB

Yoke Bracket for TQ Loudspeakers

TQ-FB

Fly Bar for TQ and MC12-P Series Loudspeakers

SA-35

Stand Adapter for Turbosound Yoke Brackets to 35 mm Speaker Stands

JP 安全指示

1. これらの指示をお読みください。
2. これらの指示を守ってください。
3. すべての警告に注意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この装置を水の近くで使用しないでください。
6. 乾いた布でのみ拭いてください。
7. 換気口をふさがないでください。製造元の指示に従ってインストールしてください。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、または熱を発生するその他の装置（アンプを含む）などの熱源の近くに設置しないでください。
9. 製造元が指定したアタッチメント/アクセサリのみを使用してください。



10. 製造元が指定した、または装置と一緒に販売されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルでのみ使用してください。カートを使用する場合は、カートと装置の組み合わせを移動するときに、転倒による怪我を防ぐように注意してください。

る場合は、カートと装置の組み合わせを移動するときに、転倒による怪我を防ぐように注意してください。



11. この製品の正しい廃棄: この記号は、WEEE 指令 (2012/19 / EU) および国内法に従って、この製品を家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示しています。この製品は、廃電気電子機器 (EEE) のリサイクルを許可された収集センターに持ち込む必要があります。この種の廃棄物の取り扱いを誤ると、一般に EEE に関連する潜在的に危険な物質が原因で、環境と人間の健康に悪影響を与える可能性があります。同時に、この製品の正しい廃棄にご協力いただくことで、天然資源の効率的な利用に貢献します。廃棄物をリサイクルする場所の詳細については、最寄りの市役所または家庭ごみ収集サービスにお問い合わせください。

12. 本棚などの狭い場所には設置しないでください。
13. 火のともったろうそくなどの裸火源を装置の上に置かないでください。

ようこそ

このたびはTurbosound ラウドスピーカー製品をお選びいただき、誠にありがとうございます。本製品および他商品についての詳しい情報は、ぜひ当社ウェブサイト turbosound.com をご覧ください。

ラウドスピーカーの開梱

ユニットを開梱したら、損傷がないかどうかをチェックしてください。損傷を見つけた場合は、すぐにサプライヤーにご連絡ください。荷受人であるお客様自身に、請求をおこなっていただく必要があります。返送を要する場合に備えて、梱包材はすべて保管しておいてください。

本クイックスタートガイドについて

本クイックスタートガイドでは、TQ ラウドスピーカーの詳細および、天吊り設置やポールマウント用のTQ-FBフライバー、TQ-YBヨークブラケット、TQ-SB スイベルブラケット、および SA-35ポールマウントブラケットなど、種々のオプション製品について解説しております。こちらの解説は、上記の部品に関してのみご利用ください。

本クイック スタートガイド記載のとおり、オプションのリギング（天吊り）部品（TQ-FB フライ バー、TQ-YB ヨーク ブラケット、TQ-SB スイベル ブラケット、SA-35 ポール マウント ブラケット）は、必ずTurbosound TQ ラウドスピーカーと組み合わせてご使用ください。

この解説には、外部の吊り装置の詳細および、安全な吊り上げ手順または設置についての詳細は記載しておりません。

これらの解説および手順を所有なさっていても、それらの使用許可を意味するものではありません。

全般的な安全性について

本製品を含むシステムを天吊り設置して使用する場合、設置方法が間違っていたり、不適切であったりすると、深刻な健康上のリスクや、死亡事故に至る危険があります。そのため設置いただく前に、電気面、機械面、および音響面で考慮すべき事項について、必ず公的、または国家的な資格を有する技術者にご相談ください。

本製品の設置およびセットアップは、必ず有資格の技術者が、お客様のお住まいの地域および国の安全規制を順守しておこなう必要があります。部品・構成部品に不足がある場合は、システムをセットアップする前に販売店にご連絡ください。

本製品の吊り下げ／固定位置が、意図した用途に適っていることを、アセンブリを取り付ける担当者が責任を持って確認し、作業してください。

また、ぜひセールス パートナーやアプリケーション チームによる、Turbosound のトレーニングをご受講ください。

Turbosound リギング システムへの接続に使用する機器は、適切な定格で、お住まいの地域、その他の安全規制に準拠している必要があります。Turbosound のリギング部品を、他の型式やブランドのラウドスピーカーでは使用しないでください。そのように使用した場合、安全基準に満たない恐れがあり、Music Tribe Global Brands Ltd は、それによって引き起こされた損害や怪我について責任を負いません。付属品の改造、本クイックスタートガイドに記載されていない方法での使用はしないでください。付属のリギング部品は、特定のアセンブリ（組立部品）のための部品で、他のアセンブリの構成部品との置き換えは不可ですので、くれぐれもご注意ください。

溶接やその他の方法で、リギング部品同士、またはキャビネット固定位置へ部品を永続的に固定することは、禁じられています。リギング部品またはアセンブリは、必ず、キャビネット固定位置で、Turbosound ラウドスピーカー キャビネットにのみ固定してください。

Music Tribe Global Brands Ltd は、製品の不適切な使用、設置、または操作に起因する、いかなる損害または人身傷害についても責任を負いません。必ず有資格技術者による定期点検を実施し、システムが安全で安定した状態に保たれていることをご確認ください。製品を吊り設置する場合、製品の下面に人の往来がないことを、くれぐれもよくご確認ください。一般の人の立ち入りや使用が可能な場所に製品を吊り下げないでください。

設置の前に必ず、EASE Focus 3 モデリング ソフトウェアを使用し、エラーや警告がないかどうかをご確認ください。

落下防止装置

劇場、スタジオ、その他の業務用施設・娯楽施設でラウドスピーカーを天吊り設置する際は、必ず、構造負荷に耐えることができる、主となる吊り下げ手段に加えて、独立した、適切な定格の、落下防止装置を、しっかりと取り付ける必要があります。そして必ず、構造および定格荷重が認可された、スチールワイヤーロープまたはスチールチェーンのみを、落下防止装置として使用します。プラスチック被覆付きのスチールワイヤーロープは、落下防止装置には使用不可です。

落下防止装置は、メインの吊り下げ位置から独立し、また単体でシステムの総重量を支えられる必要があります。落下防止装置は、メインの吊り下げ装置が破損した場合に、スピーカーが落下したり揺れたりすることなく、落下防止装置によって吊り下げを継続できるように、取り付ける必要があります。

作業の安全性について

設置手順には、権限を有する2 人以上の作業者が要です。

吊り上げ作業計画書の作成: 吊り上げ作業を実施する前に必ず、作業手順を正確に記述した、吊り上げ作業計画書を策定してください。

計画書は、吊り上げ作業に関わる全ての作業助手・利害関係者とも共有し、各自が自分の責任について理解できるようにしてください。

リギング部品とラウドスピーカーの各説明ラベルに記載されている指示に、すべて従ってください。

チェーンホイスト（チェーンブロック）を使用する際は、スピーカーの真下や近辺に人がいないことをご確認ください。

圧迫・挟まれ事故の危険がありますので、組み立ての際は常に注意を怠らないでください。

適切な保護服をご着用ください。

安全点検

部品を組み立てフライング設置する前に、リギング システムの部品およびキャビネットに欠陥や損傷の兆しがないか厳重に検査してください。損傷がある／損傷が疑われる部品がある・製品・部品が正常に機能しない恐れがある・安全性に疑いがある、等の場合は、使用を見合わせ、使用中であればすぐに使用を中止してください。

システム要件

TQ8, TQ10, TQ12, および TQ15 フルレンジスピーカーはパッシブシステムとして動作し、フォワードファイヤリング（前方向への投射）の場合、必要なのはアンプリファァーチャンネル1つとDSPのみです；カーディオイドベースセットアップでは、追加のアンプリファァーおよびDSPチャンネルが必要となります。

TQシリーズのラウドスピーカーは全て、Lab Gruppen PLM+ およびD シリーズ L プラットフォームで、LAKEプリセットのみを使用します。また、Lab Gruppen IPXシリーズプリセットも近日リリースされます。

サードパーティー製のアンプリファァーおよびDSPプラットフォームには対応していません。また、ロー プリセットデータのリリースは無く、対応もしていません。

TQシリーズは、Lake XPソフトウェアの最新機能を活用した、パワフルかつシンプルなプリセットストラテジーを備えています。

プリセットデータは、Lake LOAD Library (<https://www.labgruppen.com/downloads.html>)をご利用いただくか、<https://www.turbosound.com/downloads.html> よりダウンロードしてください。

Touringアプリケーションに推奨のLab Gruppen PLM+ モデルは、PLM12k44 および PLM20k44です。

Lab Gruppen D シリーズ L モデルを使用して設置する場合は、Lab Gruppen の「CAFE」ソフトウェア (www.labgruppen.com からダウンロード可能) で、システムに最適なアンプ構成を決めてください。

システム配線要件

アンプの電力浪費を避けるには、最小ワイヤーサイズが 2.5 mm² (14 AWG)、配線が長くなる場合や、キャビネットの入カインピーダンスが 8Ω未満の場合は、できれば 4 mm² (12 AWG) の、高耐久性スピーカー ケーブルをご使用ください。ケーブルがかなり長くなる場合は、ケーブルの抵抗および抵抗損失にご注意ください。常に極性が正しくなるようご注意ください。

信頼性の高い操作を実現する、純正 NEUTRIK SPEAKON コネクターをご使用ください。

アンプからラウドスピーカー キャビネットにスピーカーケーブルを取り付けて支えも施し、アレイに、入力配線による大きな追加重量および、横方向の力がかからないようにします。 入力ケーブルまたはリンク ケーブルは、アレイの角度を付けるために使用したり、吊り具として使用したりしないでください。

ステレオシステム例

注意：TQキャビネットは (1+/- = FR および 2+/- = LINK) に配線されているため、Lab Gruppenアンプリファァーからの出力パッチングは（スピーカー出力1： 1 +/-、および スピーカー出力2：2 +/- ）をご使用ください。

他チャンネルの使用状況に応じて、下の例のように「NL4 ～ 2-NL2 ブレイクアウト スプリッターケーブル」をご使用いただくと便利です。

NL4 側では ピン1 +/- および ピン2 +/- を使用し、両NL2側では ピン1 +/- にワイヤリングする必要があります。

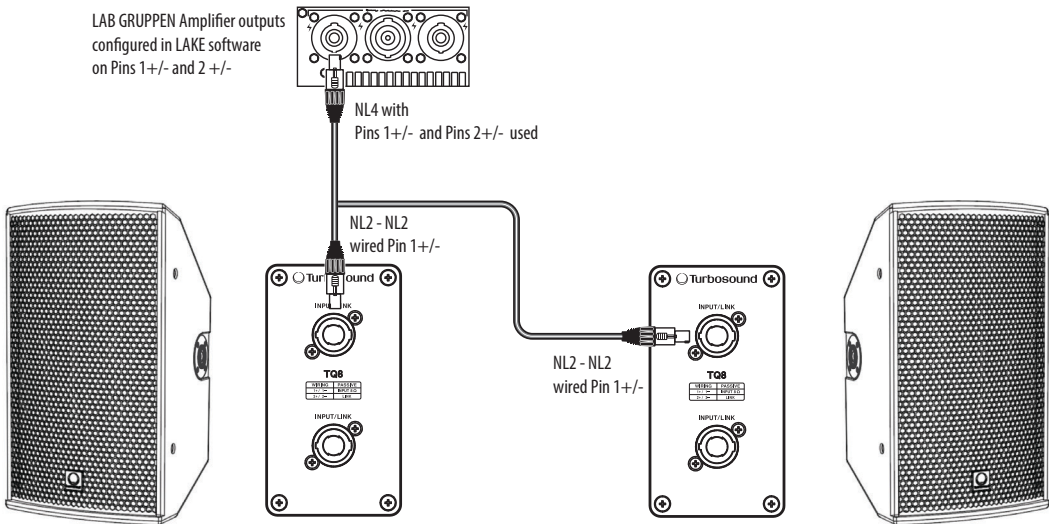
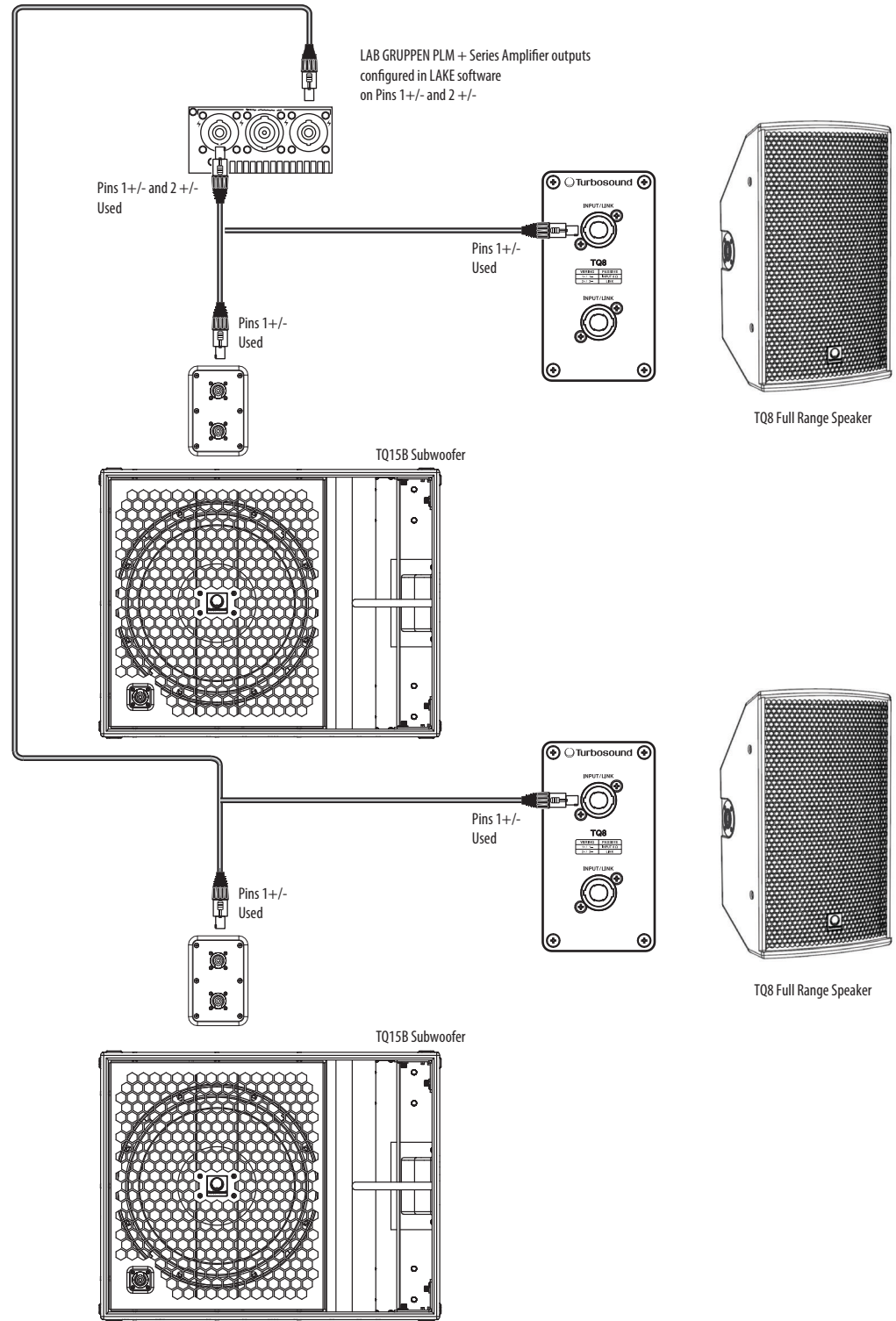
ステレオシステム例およびサブウーファァー

注意：TQキャビネットは (1+/- = FR および 2+/- = LINK) にワイヤリングされているため、出力パッチングはLab Gruppen PLM+アンプリファァーの4種類 (1, 2, 3, 4 +/-) のいずれかから選択します。

他チャンネルの使用状況に応じて（例：TQ8 および TQ15B サブウーファァー各2台を使用したステレオシステム）、下の例のように「NL4 ～ 2-NL2 ブレイクアウト スプリッターケーブル」をご使用いただくと便利です。

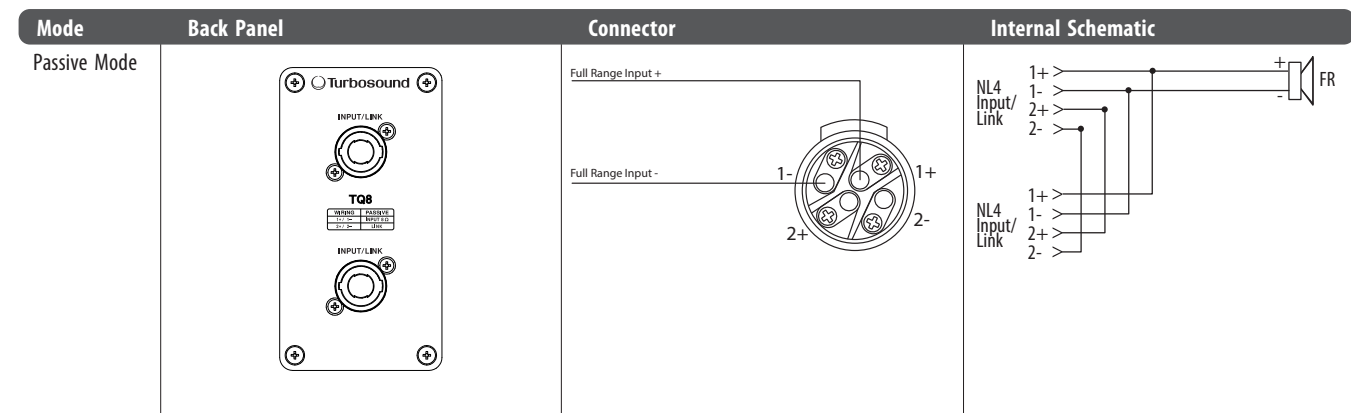
NL4側はピン1 +/- および ピン 2 +/- を使用し、両NL2側では ピン1 +/- にワイヤリングする必要があります。

注意：この場合、TQ サブウーファァー前面の入力端子は使用しないでください。ウーファァーに接続されているピン2 +/-を使用しているためです。



接続

警告：公式のLakeファクトリープリセットの使用が必須です。さもないと、TQのパッシブクロスオーバーおよびトランスデューサーの構成部品に故障が生じます。 サードパーティー製のDSPまたはアンプリファアーには非対応です。




リギングおよび音響シミュレーション ソフトウェア

TQスピーカーには、3種類のリギングアクセサリ：TQ-FBフライバー、TQ-YBヨークブラケット、そしてTQ-SBスイベルブラケットがあります。これらのアクセサリは、リギング基準BGV-C1に準拠しています。

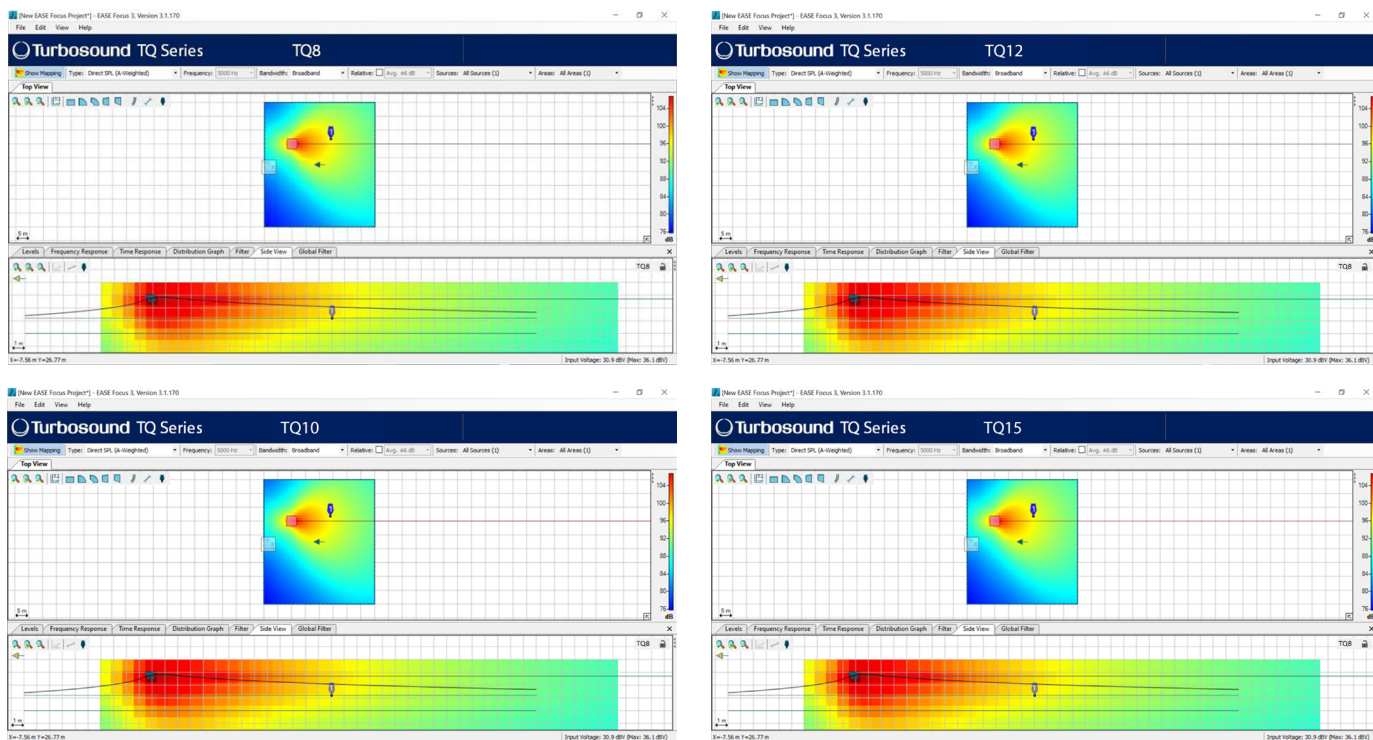
TQスピーカーはアレイ不可な製品です。Ease Focus 3 では、Manchesterシリーズサブウーファーと組み合わせたスタンドアローンでの使用や、大規模なマンチェスターシリーズ システムの一部で、フィルまたはディレイスピーカーとしての使用に対応します。

EASE Focus 3は音響シミュレーションプログラムです。https://www.afmg.eu/en/ease-focus より無料でダウンロードいただけます。



Full EASE data can be downloaded from www.turbosound.com

This will allow acoustic prediction, array formation and suspension to be determined. Important safety information about WLL is also calculated by EASE Focus.



TQ の設置

安全上の注意: 吊り下げ設置の構成および設計は、必ず有資格の技術者のみがおこなってください。不適切な設置をおこなった場合、死亡や回復不能な負傷につながります。

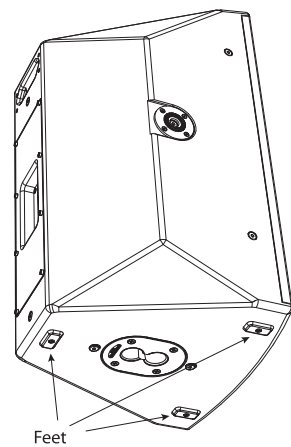
二次的な落下防止装置が安全要件として必須です。

TQスピーカーの底面には、スピーカーを平面置きするための脚が3つ、一体型ポールマウント穴2つ、および六角穴付きネジが付属したM10 取付穴があり、幅広い用途に対応します。

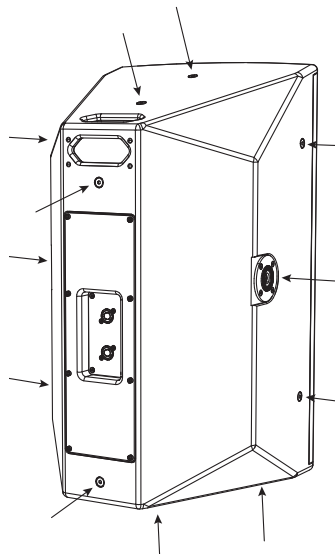
TQ シリーズのキャビネット内部には複数のリギングポイントがあり、常設する際、様々な取付方法に対応します。キャビネットはすべて、オプションの M10 ショルダーアイボルトと内部リギングポイントを連結することで、容易に吊り下げ可能です。任意の皿ネジを取り外し、ネジ長18 mm以上のアイボルトと交換します。 必要に応じて、キャビネットを逆に吊り下げすることも可能です。

オプションのアクセサリをご使用いただくと、TQ スピーカーを多様な構成でマウントできます。

脚

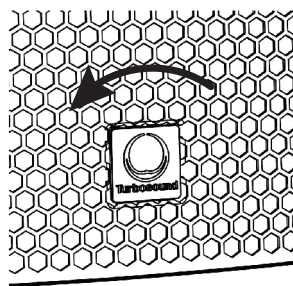


ネジ付属 M10 マウンティングホール



バジ回転

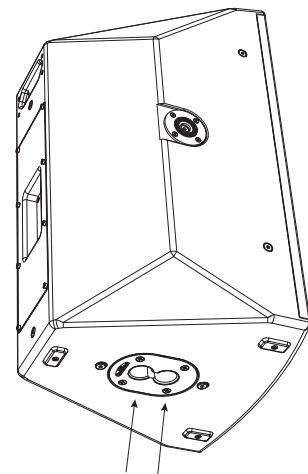
Turbosoundのバジはバネ式で、手で回転していただくことで、垂直または水平にポジショニングできます。



ポールマウント

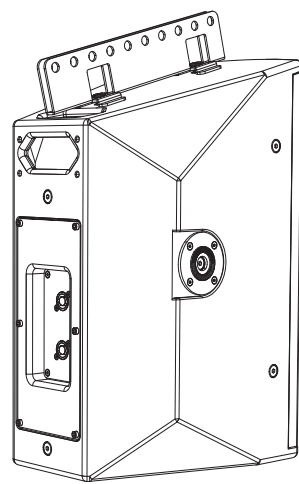
TQにはポールマウント用に35 mm 穴が2つあり、1つは垂直設置用、もう 1つは前傾設置用です。TQ は、MS121 サブウーファー、または適合する三脚へポールマウントすることも可能です。

下端にM20ネジが付属した35 mmポールのご使用が推奨です。このタイプは安全性が高く、MS121 サブウーファーの上部レセプタクルにねじ込んで使用します。

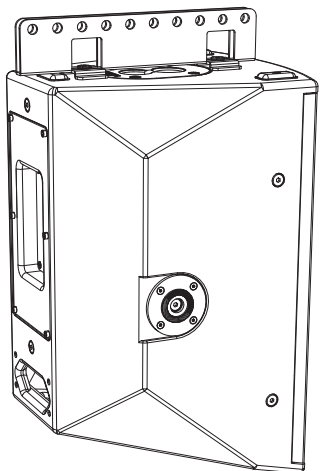
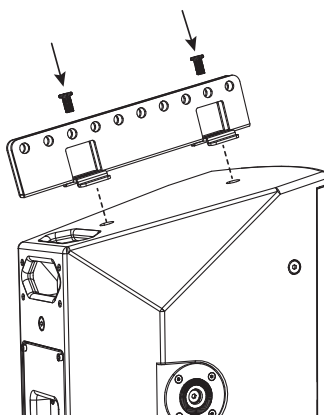


TQ-FB フライバー

オプションのTQ-FB フライバーを使用し、スピーカーをフライング設置できます。TQ-FB は TQ8、TQ10、TQ12、およびTQ15スピーカーに対応しています。シャックルを取り付けるためのピックポイントが10ヶ所あり、TQスピーカーの上面または底面にボルトで固定します。



フライバーは図のようにTQ スピーカーの上面または底面に既成のM10ネジで固定できます。両方のネジをしっかりと固定します。



フライバーには、リギングシャックル用のピックアップポイントとして使用するための、直径 2.5 mm の穴が10個あります。TQ-FBのレール間のスペースに、標準的な使用荷重1トンのバウシャックルを取り付け、TQをピックアップできます。

どちらのスタイルのシャックルでも機能します：

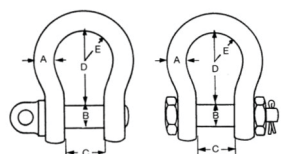
使用荷重 = 1トン

A= 10 mm

B= 11 mm

C= 17 mm

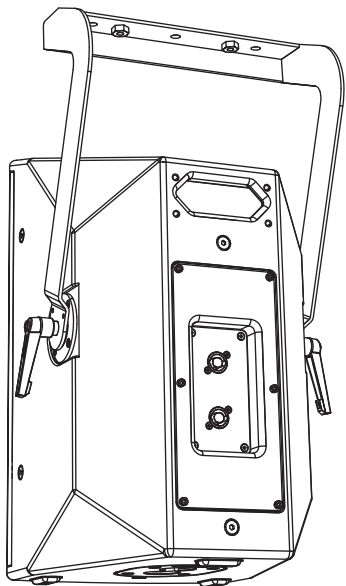
D= 36.5 mm



ヨークブラケット TQ8-YB、TQ10-YB、TQ12-YBおよび TQ15-YB

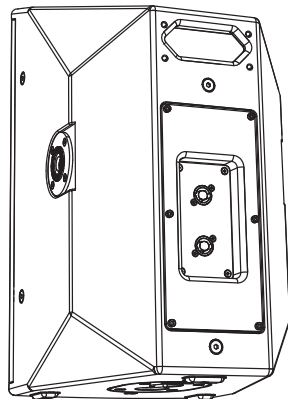
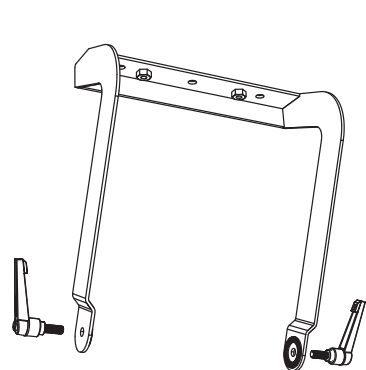
オプションのヨークブラケットを使用すると、対応するフッククランプまたはカブラーで TQ スピーカーをフライングトラスにしっかりと取り付け、スピーカーのフライング設置ができます。ヨークブラケットにはTQ8-YB、TQ10-YB、TQ12-YB、および TQ15-YB の 4 つのサイズがあり、TQ シリーズの各スピーカーに対応します。

ラチェットハンドルが両側に付いており、スピーカーの傾斜を正確にセットして固定できます。



ヨークブラケットは、TQ スピーカーの両側にあるM10 取り付け穴にハンドルをねじ込んで、TQ スピーカーの側面に取り付けます。ヨークブラケットが図の向きになるようご注意ください。

スピーカーの傾斜を任意の角度に調整し、ハンドルを締めてスピーカーを所定の位置に固定します。

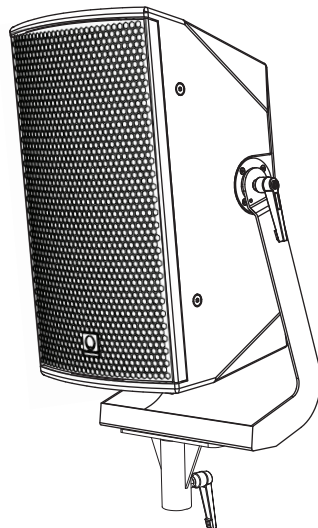


ヨークブラケットを天井などの表面にボルトで固定する場合は、まずヨークブラケットを固定します。

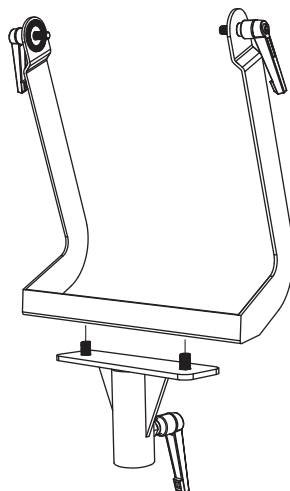
次に、スピーカーを持ち上げて、ハンドルでヨークブラケットに取り付けます。スピーカーの角度を調整し、ハンドルを締めます。

ポールマウント SA-35

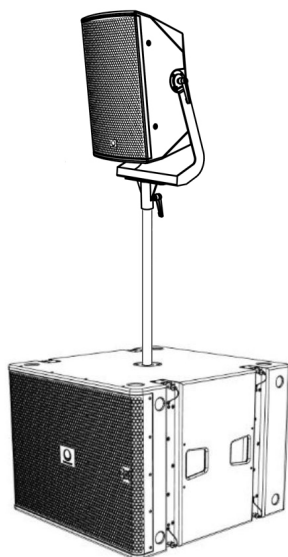
オプションのSA-35ブラケットを使用してヨークブラケットを35 mmポールまたは三脚に取り付け、スピーカーをマウントできます。



SA-35はネジ2つでヨークブラケットに取り付けます。



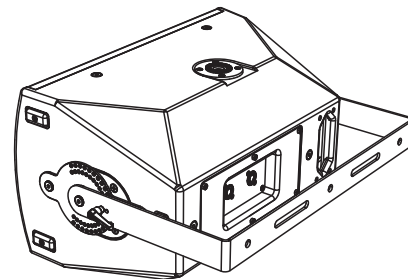
その後、組み立てたアセンブリを、MS121 サブウーファーに設置した35 mm ポール、または三脚に取り付けます。SA-35のラチェットハンドルを締め、アセンブリをポールまたは三脚に固定します。必要に応じてスピーカーの傾斜を調整し、両側のハンドルを締めます。



スイベルブラケットTQ8-SB、TQ10-SB、TQ12-SB、および TQ15-SB

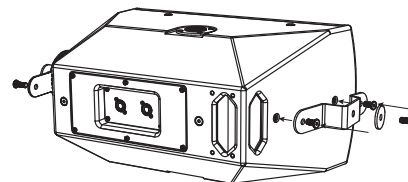
オプションのスイベルブラケットを使用すると、TQ スピーカーを天井または壁に水平に設置したり、適切なフッククランプでトラスに取り付けたりできます。スイベルブラケットは、TQ8-SB、TQ10-SB、TQ12-SB、および TQ15-SB の 4 サイズあり、TQ シリーズの各スピーカーに対応します。

スピーカーの角度を正確に設定し、所定の位置に固定します。同心円状に空いた 2 列の穴により、幅広い角度調整が可能で、クランプ/ハンドルのネジで固定します。

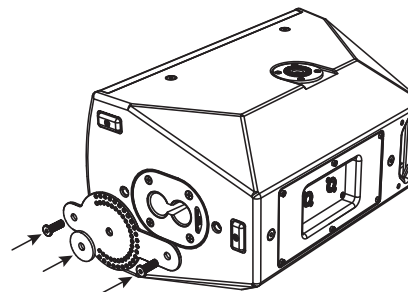


スイベルブラケットを天井などの表面にボルトで固定する場合は、まずブラケットを固定します。

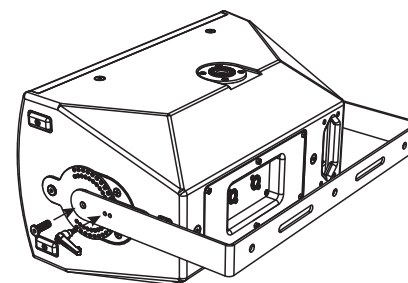
図のように、既成の M10 取り付けネジを使用して、小さなブラケットを TQ スピーカー上面に取り付けます。そこにも大型ワッシャーがあります。



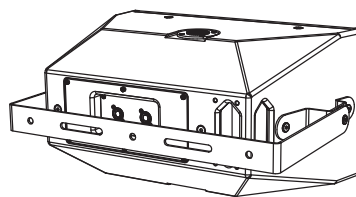
既成の M10 ネジを使用して、大きなプレートをスピーカーの底部に取り付けます。図のように、ポールマウントの穴を覆います。



大きなワッシャーを中央に置いてスイベルブラケットを配置し、中央のネジとハンドルのネジで固定します。



スイベルブラケットのもう一方の端を付属のネジで固定します。スピーカーを任意の角度に設定し、スイベルブラケット両端のハンドルのネジと中央のネジを締めます。

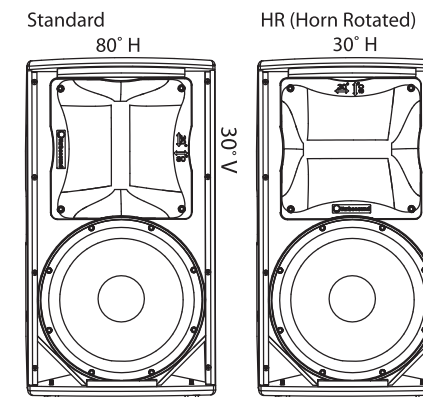


ホーンの回転

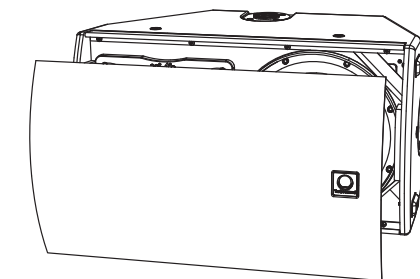
MF/HF ホーンアセンブリは、TQ を垂直に取り付けた場合（ポートレート）、水平方向のビーム幅が 80 度、垂直方向のビーム幅が 30 度になります。

ホーンアセンブリは、ご希望の構成とカバー範囲に合わせて、取り外して別の向きに再取り付けできます。たとえば、スピーカーを横向きで使用する場合、ホーンを回転させることで、水平方向80度、垂直方向30度のビーム幅を維持できます（これは、ホーンの回転が必要な一般例です）。

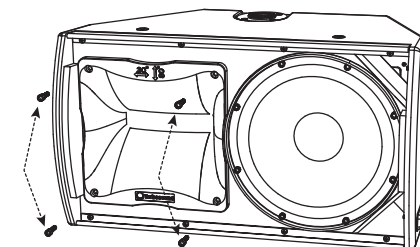
ホーン前面にはビーム幅の角度が記されています。



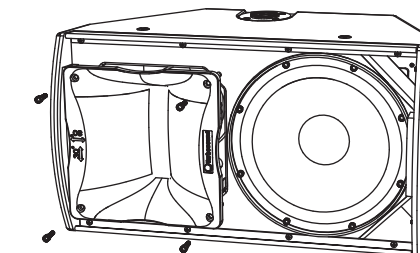
ホーンの回転は次の手順でおこないます：グリルの隅を押し、汎用トリム除去具で注意しながらこじ開け、グリルを取り外します。



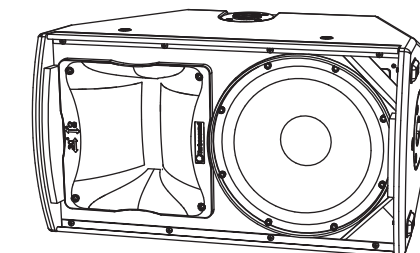
ホーンアセンブリの隅にあるネジをそれぞれ外します。



注意しながら、ホーンアセンブリを、目的の方向に回転できる程度に前方に引き出し、角度を調整します。



ネジ4本でホーンを再度取り付けます。配線がどこかに挟まったり、損傷したりしないよう、ご注意ください。



グリルを再度取り付け、スピーカーに加えた変更をメモに残しておきます。

Lake プリセットオーバーレイおよびアプリケーションノート

TQシリーズのラウドスピーカーは全て、Lab Gruppen PLM+ およびD シリーズ L プラットフォームを介したLAKEプリセットと、近日リリース予定の IPX FIR-X プリセットのみを使用します。

その他のアンプリファアーおよびDSPプラットフォームには対応していません。

TQシリーズはLakeソフトウェアの最新機能と新しいBLEQオーバーレイを活用した、パワフルかつシンプルなプリセットストラテジーを備えています。

プリセットデータは、Lake Load Library からご入手いただくか、www.turbosound.com からダウンロードいただけます。

TQ8、TQ10、TQ12、TQ15ラウドスピーカーはそれぞれ、個別の1ウェイパッシブFIRベースプリセット（1チャンネルDSP/AMP）を備えており、サブウーファアーの有無にかかわらずフルレンジです。

注意：TQ8、TQ10、TQ12、TQ15 ラウドスピーカーを、同一のアンプ/DSP 回路に組み合わせないようにしてください。さもないと機器が損傷する恐れがあります。

注意：出力のパッチングは細心の注意を払っておこなってください。

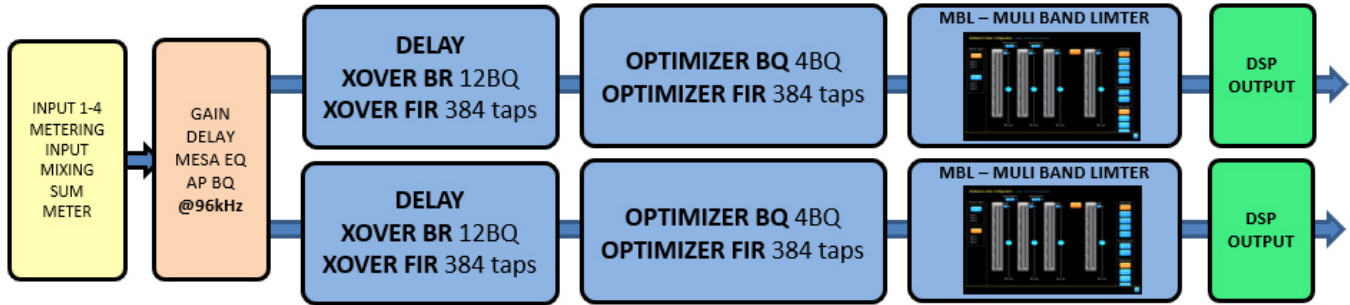
注意：HF ホーンの向きに注意し、HF ホーンを回転させてある場合は、HR プリセットをご選択ください。

TQ8、TQ10、TQ12、TQ15 モジュールは、Lake ソフトウェアの XP モジュールに基づいています。

本クイックスタートガイドでは、REV1.1 XP プリセットについて記述しています。

必ずLake ソフトウェア V7.0.7 以降をご使用ください。

Lake XPの 信号の流れ：



Lake Controller のダウンロードには、Lake Controller オペレーション マニュアルが付属します。これは、Lake Controller および互換性のあるハードウェア（PLM+ シリーズ アンプなど）についてのフルチュートリアルとなっています。

本クイックスタートガイドでは、Lake Controller の基本的な操作知識があることを前提とし、Turbosound TQ シリーズのワークフローとプリセットストラテジーに焦点を当てています。

DESCRIPTION

1.1: フレーム（アンプリファアー）は「Main」ワークスペースページにあります。この図はPLM12k44の、DSP プリセットモジュールを読み込んでいない初期フレームです。

OVERLAY



モジュールをLake Load Libraryから読み込むには：

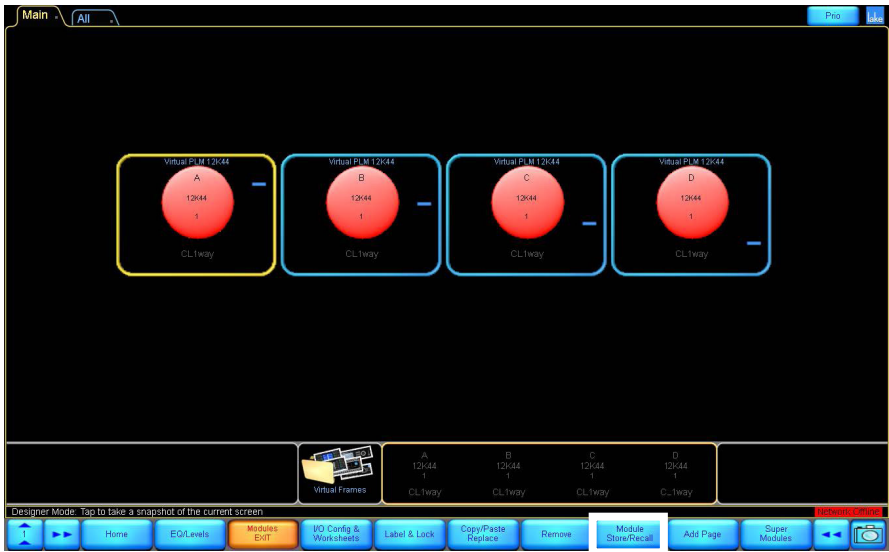
フレーム内の「Module A」を左クリックします。

Module Aが黄色で縁取りされ、ワークスペース下面のボタンに、複数のモジュールオプションが表示されます。ここに「Modules」ボタンもハイライト表示されています。



モジュールを読み込むには：

「Module Store/Recall（モジュールの保存／呼び出し）」ボタンをクリックします。



DESCRIPTION

フォルダが表示され、読み込むモジュール（プリセット）の参照元を選択可能になります。
「Lake Load Library 5.5」フォルダをダブルクリックします。

OVERLAY

矢印キー (>> <<) で画面下方をスクロールし、「Suitable for TURBOSOUND Loudspeakers (TURBOSOUNDラウドスピーカー対応)」フォルダを見つけたら、ダブルクリックして開きます。

OVERLAY

再度、矢印キー (>> <<) でスクロールして「TQ REV1.1 XP」フォルダを探し、ダブルクリックして開きます。

OVERLAY

DESCRIPTION

TQシリーズのスピーカーごとに 1 つずつ、TQ8、TQ10、TQ12、TQ15の、合計 4 つのフォルダが表示されます。使用するスピーカーのフォルダをダブルクリックします。

OVERLAY

利用可能なモジュールフォルダが表示されます。
ホーンのセッティング（スタンダードと、HR（ホーン回転））によって、各 TQ シリーズスピーカーごとに、2 種類の選択肢があります。
いずれかを左クリックすると、モジュールのセットアップに関する詳細が表示されます。こちらの例はスタンダード（ホーンアセンブリを、工場出荷時の状態から変更していない）となります。
ホーンの回転手順は、本クイック スタートガイドの xx ページに記載されています。
ヒント：表示された情報をしっかりとお読みくださるようお願いいたします！

OVERLAY

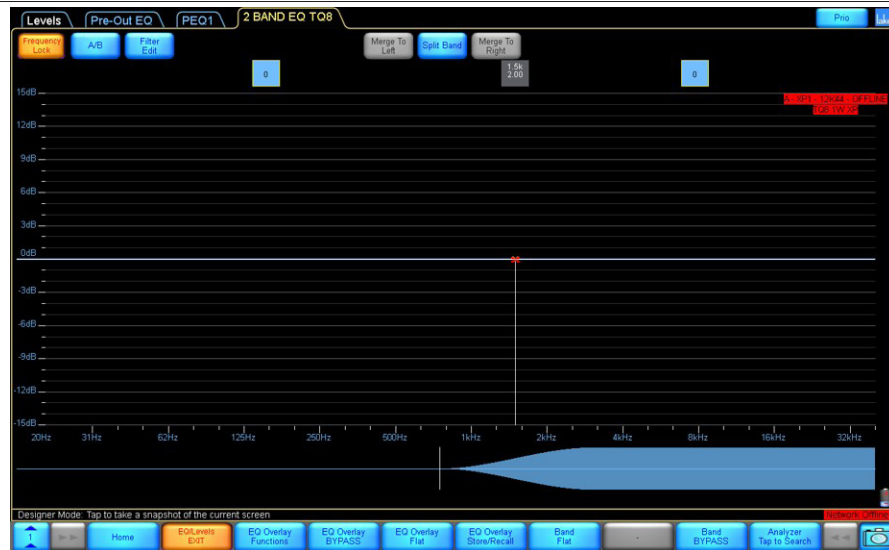
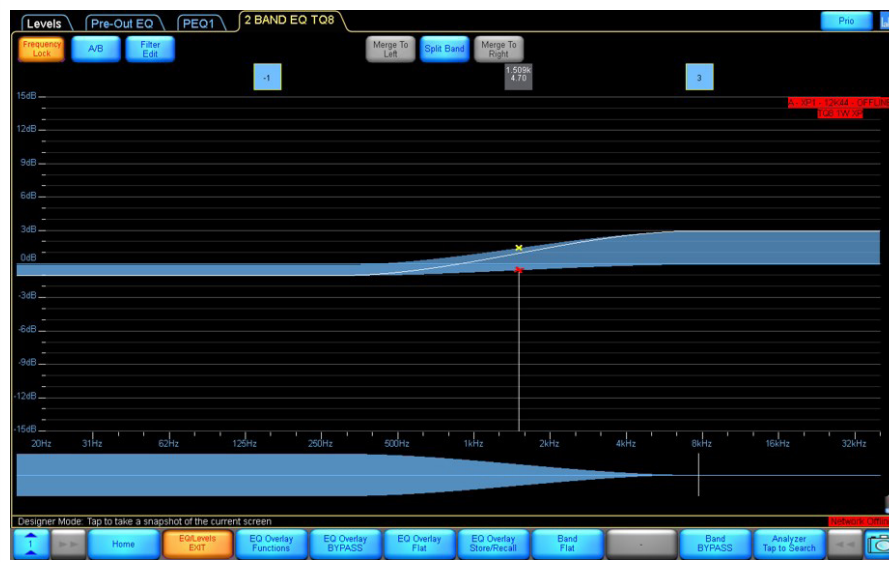
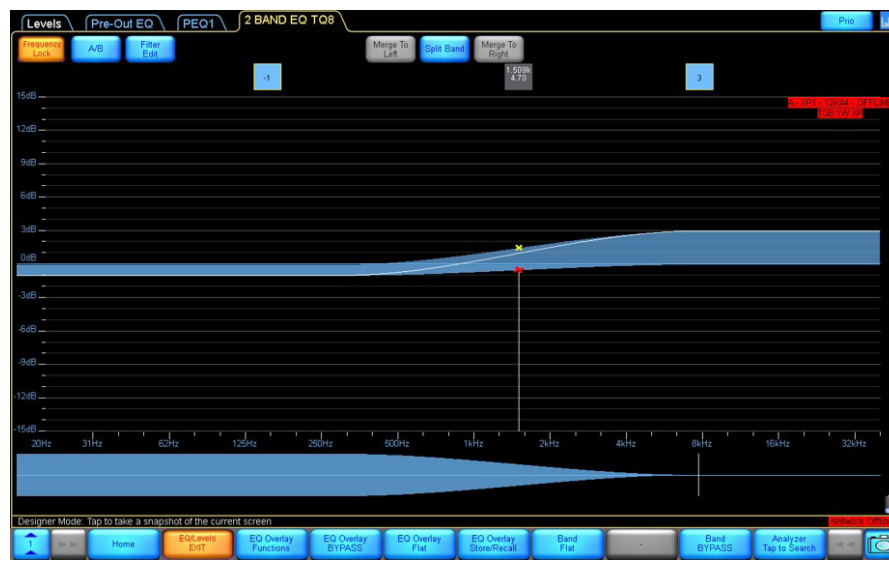
任意のフォルダをダブルクリックすると、フレーム（アンプリファァー）の、ハイライト表示されているモジュールに、モジュールプリセットを開きます。

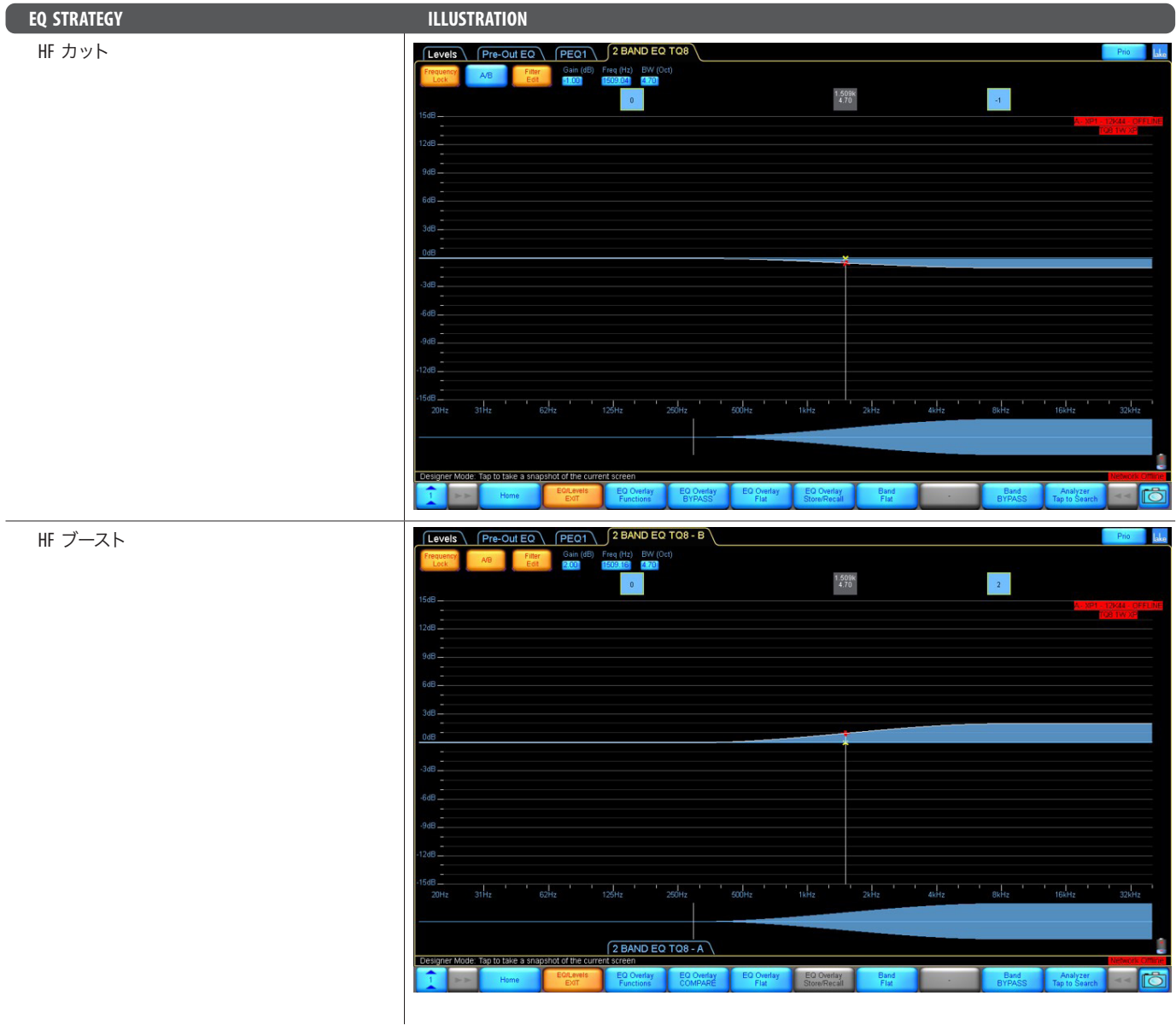
OVERLAY

「YES」を押して進みます- 選択したプリセットが読み込まれました！

OVERLAY

DESCRIPTION	OVERLAY
<p>出力構成：</p> <p>DSPモジュール出力を、フレームのアンプリアー出力にパッチしていきます。</p> <p>フルレンジ TQ シリーズスピーカーの場合、ピン 1 にフルレンジが必要です。パッチは黄色の枠および赤色のテキストで強調表示されます。</p> <p>適切に出力をパッチングできたら、Enterキーを押して出力構成画面を閉じます。</p> <p>注意：他のプリセット モジュールを空いている C & D モジュールに同じ手順で読み込むか、またはIO オプション ボタンを使用して、この画面にアクセスできます。</p>	
<p>プリセットモジュールが呼び出され、A/B ハードウェアモジュールに読み込まれたことが確認できます。</p>	
<p>必要なのは1チャンネルのDSP およびアンプリアーのみです。</p>	

EQ STRATEGY	ILLUSTRATION
<p>TQ8/10/12/15 スピーカーには バンド EQ (BLEQ) がインサートされています。</p> <p>BLEQ は LF/HF のレベルコントロールとして機能し、BLEQ の 2 つの中心周波数は LF/HF のクロスオーバー ポイントに関係します。</p> <p>BLEQ により、PEQ オーバーレイおよびグループオーバーレイと共に、システムのトーンバランス調整が可能です (システム設計により異なります)。</p>	
<p>BLEQ の使用例フラット</p>	
<p>LFカットおよびHFブースト</p>	



SUBWOOFER TIME ALIGNMENT

TQ15B/TQ18B サブウーファーのプリセットは、初期タイムアライメント（キャビネットの前面が同一線上に並んでいると仮定）を、オールパスフィルターを使用して設定します。これにより、システムのレイテンシーが大幅に低減されます。

例：TQ スピーカーと TQ15B/TQ18B サブウーファーの前面が位置合わせされている場合、両方のプリセットでディレイをデフォルトの 0ms に設定します。W

しかし、フライング設置したスピーカーと床置きベースを、垂直面に揃えられない場合もあるでしょう。

1. この例では、TQ15B/TQ18B サブウーファーは TQ スピーカーの「前方」にあるため、TQ15B/TQ18B サブウーファーにディレイ（遅延）を設定する必要があります。

2. この例では、フライング設置した TQ スピーカーは、床置きの TQ15B/TQ18B サブシステムの「前方」にあるため、TQ にディレイ（遅延）を設定する必要があります。

フライング設置したスピーカーを床置きしたベースに合わせる際、適切なディレイタイムの導き出し方は？

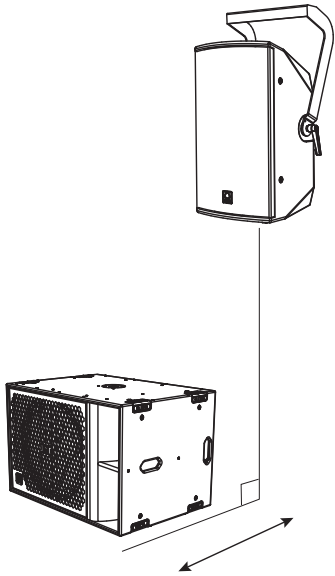
ディレイユニットに関する基本的な知識があれば、フライング設置したスピーカーの前面とグランドスタック（床置き）アレイの前面との間の距離を測定することで、好ましい結果を得られます。Lake ソフトウェア内でディレイユニットを選択できますので（ms、m、またはfeet）、ご記憶ください。

1 ミリ秒（ミリ秒）= 0.343 m（メートル）= 1.125 フィート（フィート）

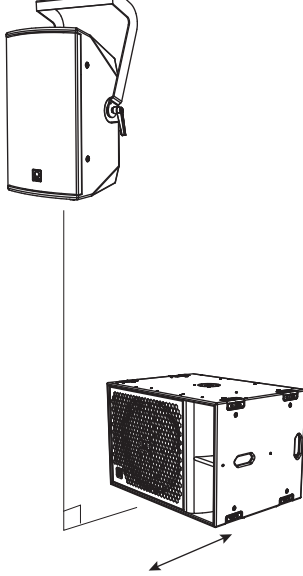
微調整は、多数ある業界標準の測定ソフトウェア システムのいずれかと、リファレンス マイクロフォン、およびサウンドカードを使用しておこないます。Lake ソフトウェアをご使用いただくと、こういったソフトウェア システムの多くを統合できます。詳しくは www.labgruppen.com をご覧ください。

ILLUSTRATION

1. Subs are forward



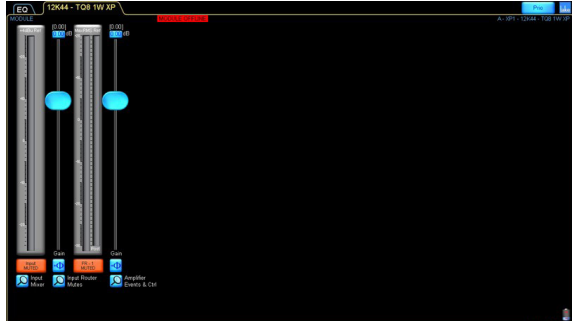
2. Flown TQ is forward



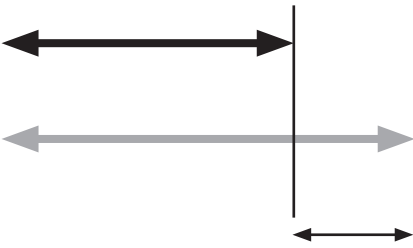
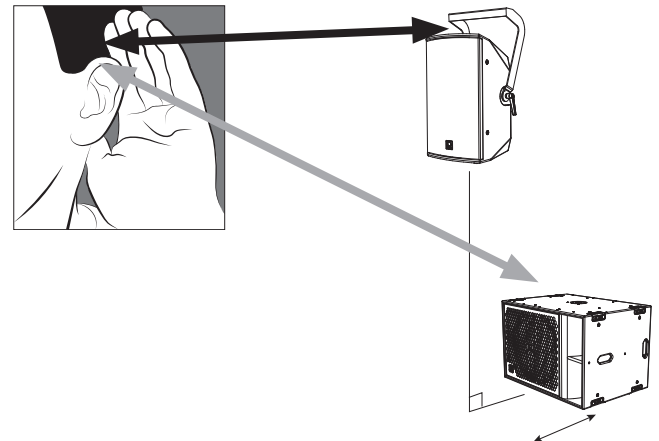
OVERLAY



Delay adjustment of subwoofers



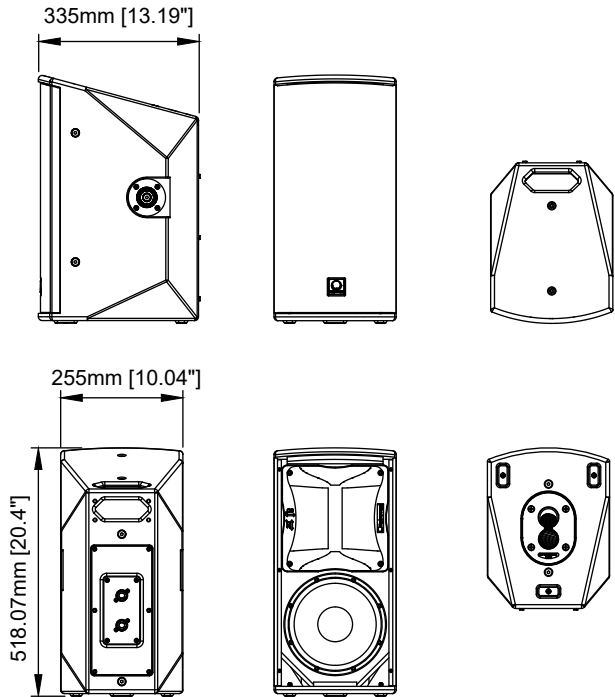
Delay adjustment of TQ speaker



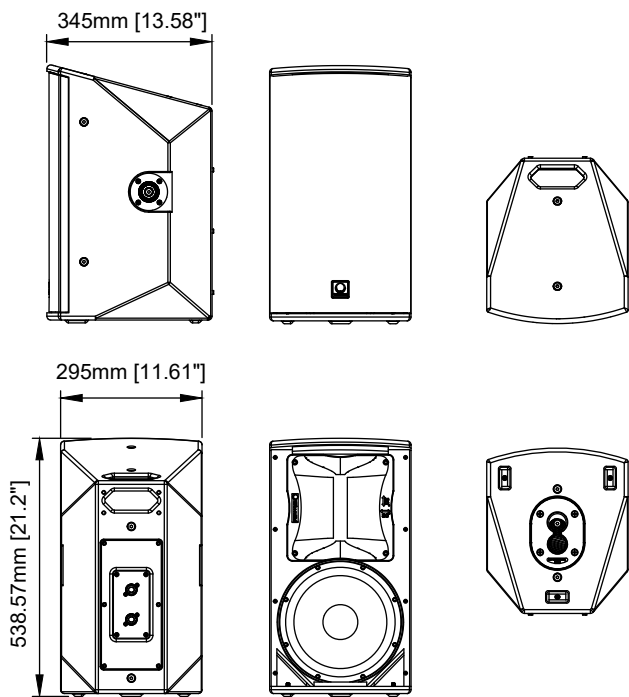
距離（時間）は、聴取地点での位置合わせのため、フライングアレイに追加する差分です。

Dimensions

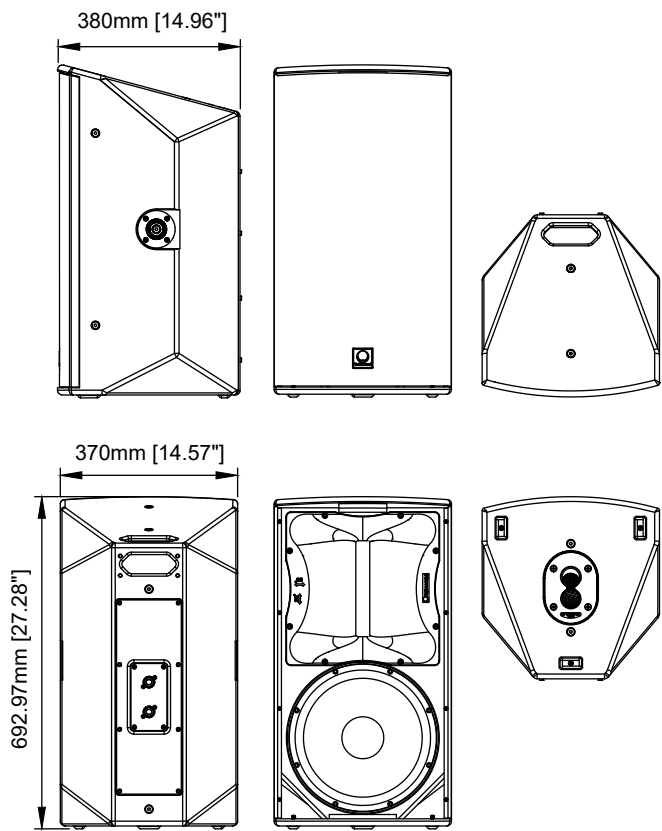
TQ8



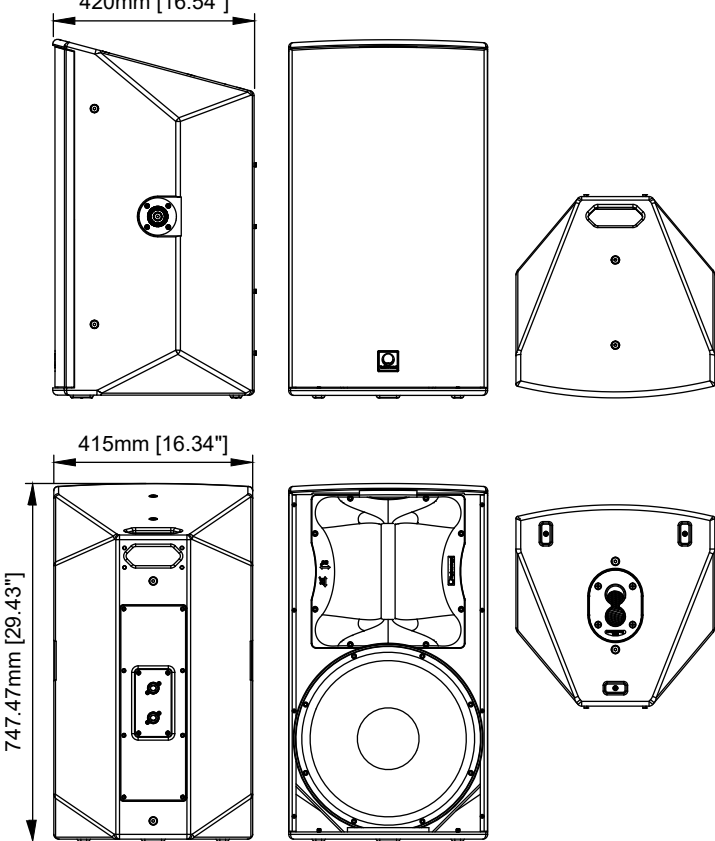
TQ10



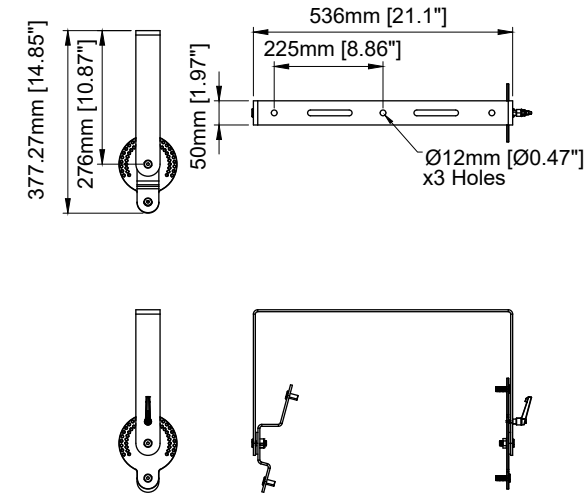
TQ12



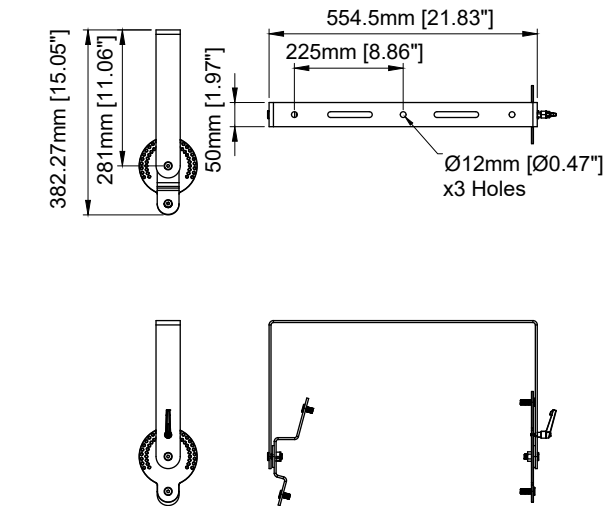
TQ15



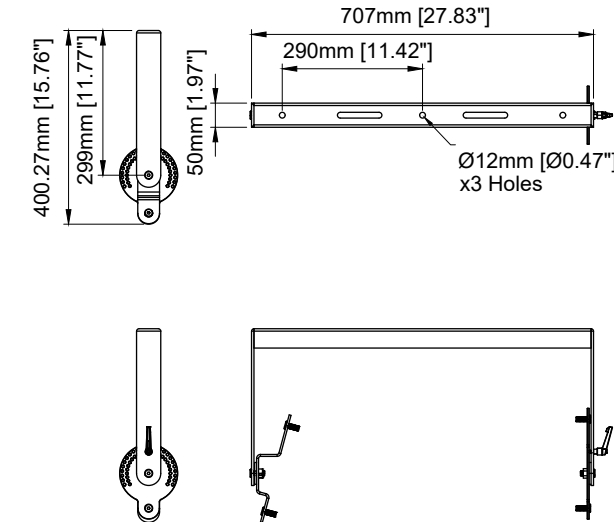
TQ8-SB



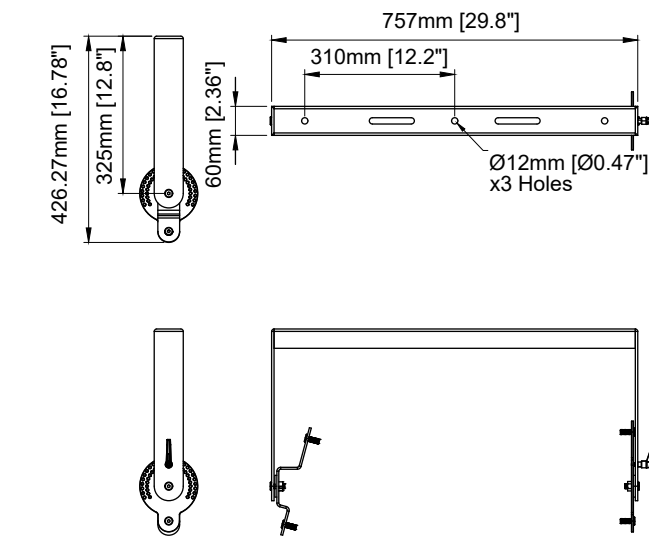
TQ10-SB



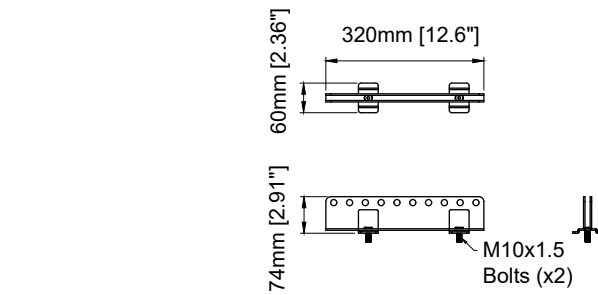
TQ12-SB



TQ15-SB

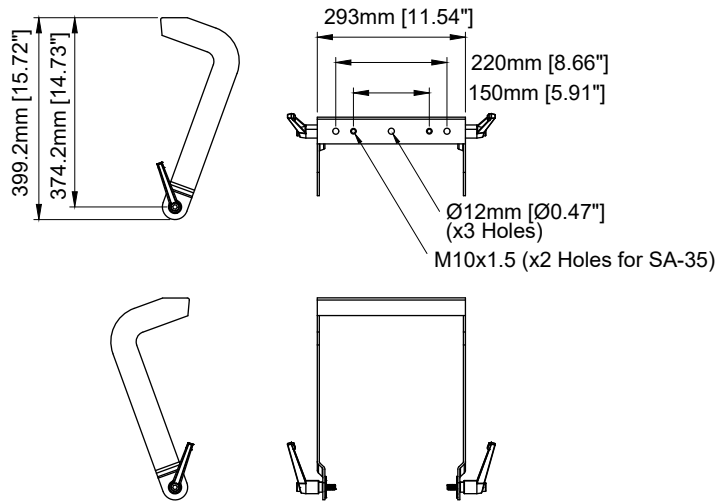


TQ-FB

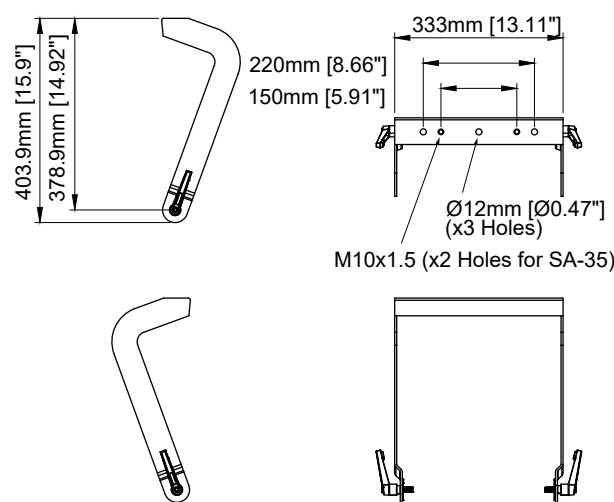


JP

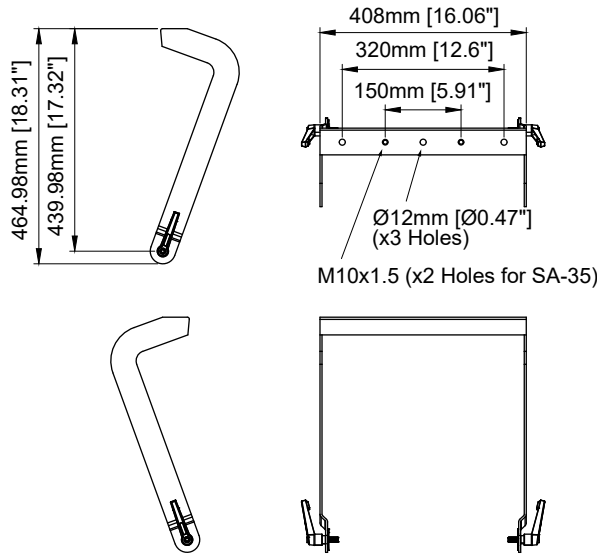
TQ8-YB



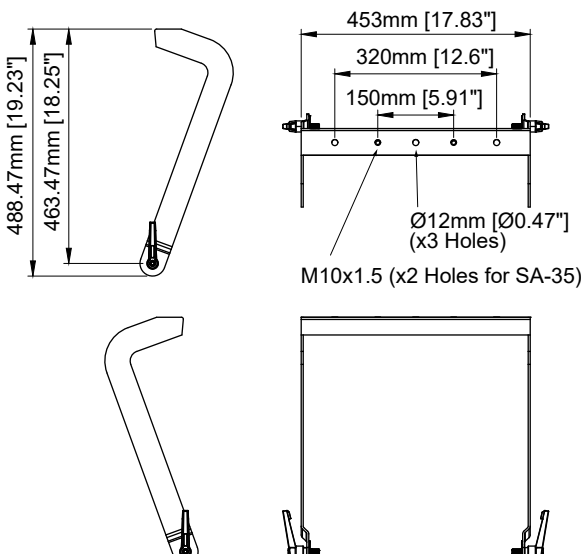
TQ10-YB



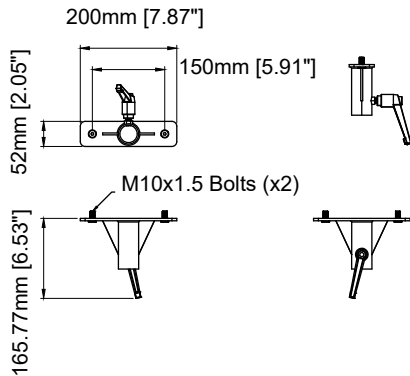
TQ12-YB



TQ15-YB



SA-35



仕様

JP

	TQ8	TQ10	TQ12	TQ15
システム				
周波数応答 (±3 dB) ¹	68 Hz - 20kHz	65 Hz - 20 kHz	58 Hz - 20 kHz	52 Hz - 20 kHz
周波数応答 (-10 dB) ¹	50 Hz - 20kHz	45 Hz - 20 kHz	40 Hz - 20 kHz	39 Hz - 20 kHz
公称ディスパージョン (@ -6 dB ポイント)	80° H x 30° V			
電力処理 (IEC) ⁴	275 W コンティニュアス	400 Wコンティニュアス	500 W コンティニュアス	550 Wコンティニュアス
ピーク	1100 W ピーク	1600 W ピーク	2000 W ピーク	2200 W ピーク
感度 (1 W @ 1 m) ²	95 dB	97 dB	99 dB	99.5 dB
最大 SPL ³	131 dB ピーク	135 dB ピーク	138 dB ピーク	139 dB ピーク
インピーダンス	8 Ω			
コンポーネント	1 x 8" (211 mm) LF ドライバー	1 x 10" (250 mm) LFドライバー	1 x 12" (315 mm) LF ドライバー	1 x 15" (380 mm) LF ドライバー
	1 x 1.4" (36 mm) / 3" (72 mm) ボイスコイル HF コンプレッションドライバー			
エンクロージャー				
コネクター	2 x Neutrik speakON* NL4			
ワイヤリング	Pins 1+ / 1- input, pins 2+ / 2- link			
サイズ 高さ／幅／奥行き	515 x 255 x 355 mm (20.3 x 10 x 14")	535 x 295 x 345 mm (21 x 11.6 x 13.6")	690 x 370 x 380 mm (21.17 x 14.57 x 14.96")	745 x 415 x 420 mm (29.33 x 16.34 x 16.54")
純重量	12.5 kg (27.5 lbs)	14.5 kg (32 lbs)	21. kg (46.7 lbs)	23.5 kg (51.8 lbs)
材質	12 mm および 15 mm (1/2インチおよび 5/8インチ) 合板			
仕上げ	PU セミマット ブラックペイント			
グリル	パウダーコート 有孔スチール、クロスラップ			
フライングハードウェア	M10 x 12 ポイント			
IP 定格	IP44			
UV定格	4-5 (ASTM G155-13)			
アクセサリ (オプション)				
スイベルブラケット	TQ8-SB	TQ10-SB	TQ12-SB	TQ15-SB
ヨークブラケット	TQ8-YB	TQ10-YB	TQ12-YB	TQ15-YB
ポールマウントブラケット	SA-35			
フライバー	TQ-FB			
バッグ	TQ8-WPB	TQ10-WPB	TQ12-WPB	TQ15-WPB

注意:

- 記載された帯域幅の平均。軸上 1 メートルで測定。
- 自由音場条件下において、クレストファクター 4 のピンク ノイズを使用、専用プリセットで、1 m での SPL レベル。 1mでのピークレベル
- 半空間条件下で、クレストファクター 4 のピンク ノイズを使用、専用プリセットで、1mでのピークレベル。
- パッシブパワーハンドリングは、(IEC) を備えた専用プリセットで LF/HF を組み合わせたものです。
- Ease Data は www.turbosound.com からダウンロードできます。

その他の重要な情報

JP

その他の重要な情報

1.

ヒューズの格納部 / 電圧の選択:
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。
ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
2. 故障:

Music Tribe ディーラーがお客様のお近くになくときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
3. 電源接続:

電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。
不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

